



ごあいさつ

はじめに

新型コロナウイルス感染症により影響を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症への対応

弊社では、新型コロナウイルス感染症への対応において、「お客さまおよび職員の安全を最優先に考えること」および「われわれの事業活動により感染者が増えることは絶対に回避すること」を基本方針として、適時適切な対策を実施しております。

保険販売にあたっては、感染拡大防止の観点から、オンライン面談や各種資料の電子的送付システムの活用などを行い、コロナ禍におけるお客さまのニーズにこたえつつ、「リアル」と「デジタル」を効果的に組み合わせる新たな募集活動に取り組んでおります。

お客さまサービスにつきましては、引き続き電話や郵送によるアフターサービス活動を中心に、新型コロナウイルス感染症に関する各種お取扱いのご案内など、きめ細やかな情報提供により、お客さまの不安解消につながるよう努めております。

2021年度決算について

コロナ禍という厳しい環境下ではございますが、フコク生命、フコクしんらい生命合算の新契約高と新契約年換算保険料は、ともにコロナ禍以前の2019年度を上回る水準に回復しました。保険会社の売上高を表す保険料等収入は2社合算で前年度比8.1%増加の

6,320億円となり、こちらもコロナ禍以前を上回る水準に回復しております。資産運用においては、フコク生命単体の利息及び配当金等収入が4年連続で過去最高を更新しました。

その結果、保険会社の収益力を表す基礎利益は2社合算で前年度比1.7%増加の843億円となりました。健全性を示す指標である連結ソルベンシー・マージン比率は1,274.3%と引き続き高い水準を維持しております。また、ご契約者の期待を踏まえ、個人保険分野において契約者配当を増配いたしました。これにより個人保険分野の増配は、10年連続となります。

生命保険は、ご契約者が保険団体を構成して互いに助け合う「相互扶助の精神」で成り立っており、皆さまからお預かりした保険料の一部は万が一のことがあったお客さまなどに保険金等としてお支払いされております。2021年度においては、2社合算で5,177億円の保険金・年金・給付金をお支払いいたしました。今後も保険金等の確実なお支払いに努めてまいります。

価値観としての「お客さま基点」

「ご契約者本位」という想いのもと相互会社として創業された弊社は、経営や業務遂行にあたり、役職員一人ひとりが「もし自分がお客さまだったら」を常に想像しながら、フコク生命ならではのサービスや経験を創り出し、ご提供していく「お客さま基点」という価値観をあらゆる発想や行動の原点とするよう努めております。「お客さま基点」の価値観のもと、死亡保障商品と医療・介護保険などの第三分野商品、そして貯蓄性商品を総合的にコンサルティングし、お客さまのニーズにお応えしてまいります。

中期経営計画

「最大たらんよりは最優たれ」をDNAとする弊社は、「徹底した差別化で皆さまから最も評価される会社となる」をビジョンに中期経営計画（2019年度～2021年度）に取り組んでまいりました。ビジョンの実現は道半ばではありますが、2019年度のスタート時から、ご契約者アンケートにおけるお客さま満足度が向上するなどの一定の成果が表れております。

今年度から新たにスタートする中期経営計画（2022年度～2024年度）においては、長期経営ビジョン「お客さま満足度No.1の生保会社となる」と現状とのギャップを埋めるべく、「事業変革を図るための基盤固め」と「多様化する社会課題を解決する取組み」を重点取組みテーマとしております。これらを推進することで、ES（職員満足度）の向上をCS（お客さま満足度）の向上につなげる「持続的成長のための好循環」の構築に努めてまいります。

創業100周年に向けて

2023年11月に創業100周年を迎える弊社は、「THE MUTUAL」（ザ・ミューチュアル）というコンセプトのもと、100周年プロジェクトに取り組んでおります。「THE MUTUAL」とは、共感・つながり・支えあいをベースとした次の100年に向け進化する次代の“相互扶助”のことです。

2021年度においては、「すまいる・ぎやらりー」（全国の特別支援学校生徒の美術作品を内幸町本社ビル地下2階に展示する企画）の作品をデザインとして活用し、子どもたちと社会がつながるお手伝いをさせていただく「THE MUTUAL Art for children」の活動として、「おやさいクレヨン」を製作しました。全国33支社および本社営業部門で約46,000個を地域の保育園等に寄贈させていただきました。

引き続き、次代の“相互扶助”である「THE MUTUAL」を発信し、100周年を迎えたとき、弊社に関わるすべての人と共感しあえる会社となることを目指してまいります。

健全性について

社会・経済環境が大きく変化するなかで、持続的に成長していくためには、これまでどおり経営の健全性を確保していくことが不可欠です。

弊社は、いかなる環境下においても健全性を維持できるよう、自己資本の一層の強化に努めております。自己資本の強化にあたっては、経常利益による内部留



保の積上げを第一義とし、適時、基金の募集や劣後社債の発行などの外部調達を行うことを基本方針としております。2021年度においては、危険準備金などの積増しにより内部留保を積み上げました。今後も健全性のさらなる向上を図り、お客さまにご安心を提供できるよう努めてまいります。

相互会社としての使命

弊社は、保険会社として「いかなるがあっても保険金等を確実にお支払いすること」が最も重要な責務であると考えとともに、相互会社として「配当還元による充実を通じて、お客さまの実質的な保険料負担の軽減を図ること」が使命であると考えております。

この保険会社としての責務と相互会社としての使命を果たしていくために、弊社はお客さまの利益を守ることを考え、過度な成長ではなく、お客さまを守るための成長を追求してまいりました。こうした企業としての在り方が、信頼へとつながり、お客さまに安心していただくことができるものと考えております。生命保険は、お客さまとの一生にわたる、さらには世代を超える約束であり、終わりのない仕事です。相互扶助の精神のもと、お客さまにしっかりと寄り添い、未来永劫お客さまとの約束を守ってまいります。

これからも変わらぬご支援・ご愛顧を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

代表取締役社長

米山好映